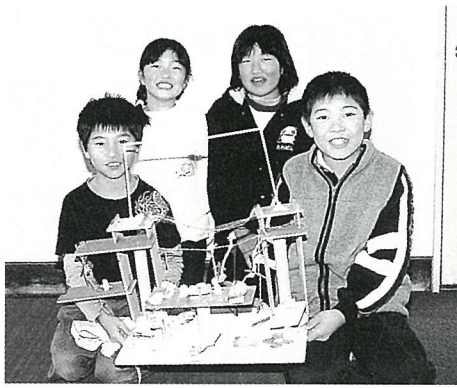


※鈴木紗絵、金田健志、向後力輝也、春奈の4名で協力して作りました。佐々木



4年2組 2班 『子どもだけのひみつきち』



1年 金子 遥加さん



『わくわくどんぐり』

※どんぐり一つ一つに顔をかいて、ピースのかんむりをかかせました。

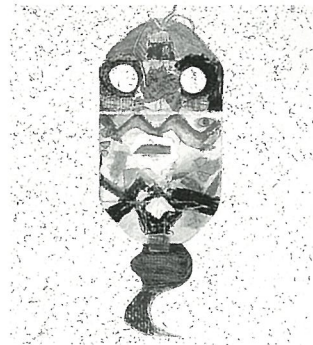


『夕焼けの木』



5年 中村 直哉くん

※夕焼けの空の色がうまくだせました。まわりの生きものも工夫してかきました。



『お面で変身!』



2年 齋藤 憲一くん

※ほくは不思議な色のお面にしました。くによくよのしっぽも自慢です。



6年 渡部 麻衣さん

※ドアのむこうは不思議な森の家です。いろいろな緑を作って森の家にしました。

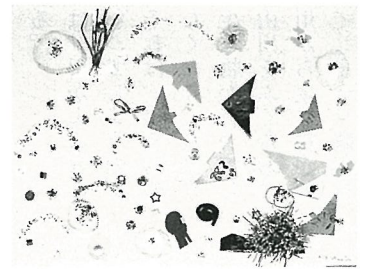


『ドアのむこうは...』



3年 菅野 愛さん

※たくさんのピースを、のりで貼ってあるところを一番工夫しました。



『エンゼルフィッシュの村』

あつまれ みんなの力作



ひかり俳壇



布施 和代 (二又)  
対岸の火色したしき秋暮色

釣落しと言われる秋の夕べ、虫の音、対岸の灯火などしみじみと秋の風情を深める

山崎 てい (二又)  
スポーツに晩秋のひと日若返る

小春日和に恵まれた晩秋の一日を軽い運動に興じ、身も心も久しぶりに爽やかである

伊藤 幸枝 (尾垂)  
葱畑畝もり上げて出荷待つ

田畑の耕作は大半が老人であり作者も既に八十歳近い。労苦の報われるのも近い

鈴木とし子 (宝米)  
ひっそりと晩秋の川雲流るる

大木 素風 (二又)  
枯菊のひそと空港殉職碑

伊藤 雅子 (尾垂)  
晩秋や声明響く山門に

川島 孝夫 (二又)  
晩秋や仏前飾る旅土産

川島 通則 (二又)  
晩秋の牧場の牛は一群に

川島 重一 (尾垂)  
晩秋の月の砂漠に砂の文字

短評 椎名しげる  
評者吟 晩秋てふ語感沁みじみ腑かな